



かわはら のりたか
河原 宣孝

尚美音楽短期大学 1 期生（音楽情報学科音響コース）

略歴

昭和 5 8 年 尚美音楽短期大学卒業
昭和 5 9 年 根室市立歯舞中学校 教諭
平成 7 年 別海町立上西春別中学校 教諭
平成 1 1 年 ドイツ デュッセルドルフ日本人学校 派遣教諭
平成 1 4 年 別海町立別海中学校 教諭
平成 1 7 年 別海町立別海中学校 教頭
平成 1 9 年 羅臼町立春松小学校 教頭
平成 2 2 年 根室市立成央小学校 教頭
平成 2 4 年 別海町立西春別小学校 校長
平成 2 7 年 羅臼町立羅臼小学校 校長
平成 3 0 年 中標津町立中標津小学校 校長
令和 3 年から現在 別海町立別海中央小学校 校長

主な役職歴

根室教育研究所 所長
根室管内特別支援教育研究会 会長
根室管内音楽研究会 会長
北海道音楽教育連盟 副会長
北海道リコーダー教育研究会 副会長
根室国際理解教育研究会 副会長

卒業して 40 年を迎えようとしています。わずか 2 年の短大生活がこの 40 年を支えていたと言っても、私には過言ではありません。田舎の高校から上京して、短大生活を始めること自体大きな変化ではありました。それ以上に、1 期生であったことから先輩がいない、校風もすべて自分たちからが始まりということが、私を大きく鍛え、成長させてくれたことです。学生生活に関わるサークル活動にしても、学校祭にしても、学生交流にしても、同期生たちみんなの試行錯誤からの始まりです。ここで、思うようにいかないとき、常に「どうしたらできるか」を学友と熟議を繰り返し、手探りの中から形を作り出してきた経験が、その後の教職で大きな支えとなったのです。荒れた学校、海外派遣、大小様々な危機管理など対応してきました。今コロナ禍で、児童生徒の健全な育成のための教育課程が、縮小や延期、中止など変更を余儀なくされています。どのようにしたら、形を変えても目指す目標やねらいを最大限失わないでできるかと、私を突き動かしています。このように、私を 40 年支えた当時の校風は、私なりに「簡単にはあきらめない」、「やれるとこまでやる」、「可能性を探る」、「仲間と共同する」と感じています。その校風は、今なお息づいていると聞いています。

現在、不自由な状況で学んでいることと察します。どうか、尚美魂と自らの志をしっかり持って、新しい時代の波に乗り、乗り越え、未来を確実に掴んでほしいと心から願い、北海道の東端から皆さんにこのエールを送ります。